



# 草加松原ロータリークラブ

2020-21年度 国際ロータリーのテーマ ロータリーは機会の扉を開く



第409回 例会 12月1日 草加市文化会館

## ＊＊本日のプログラム＊＊

開会点鐘	幹事報告
ロータリーソング	委員会報告
四つのテスト	SAA報告
お客様紹介	出席報告
会長挨拶	閉会点鐘
誕生祝・結婚祝・スピーチ	
クラブ総会	

## 11月24日の例会記録

### ◆ 会長あいさつ 木村 博行会長

皆さんこんばんは、先日ゴルフをしました。酷い順位でしたが暖かく楽しくやらせていただきました。

例会あいさつで何か一つロータリーのことを話してとプログラム委員長から助言がありました。前はインターアクトの話をしたので、今日は社会奉仕の話をしたと思います。

会田社会奉仕委員長と加藤幹事と話しました。今後の活動として、佐々木奉仕プロジェクト委員長からもアドバイスをいただいて、「子ども食堂」に支援をしたいと考え、昨日加藤幹事の知り合いで、草加に今3番目として今作っている最中の「草加あおはる食堂」の第4回目を開催しているところに見学に行ってきた。身分を明かしたうえで参加したので、先方も期待を持ってしまったように感じますが、実際に行ったら、社協に助成金の請求をしたり、食道の計画書や色々やっております、昨日は連携担当の高知大学名誉教授針谷順子さんの講演があり、その後参加している方に「牛肉弁当」を配っていました。本来はみんなで食事をようですが、コロナ禍で、テイクアウト形式で弁当を配っていました大人¥300、子ども¥100という事でした。たぶんですが、人材不足、食材不足、色々な意味で我々ロータリーも協力できそうな雰囲気はありました。詳しくは理事会で検討をし、進めていかれたらと思います。

国際奉仕のマリキーナ市の台風被害についての支援については理事会にかけては思っていますが、取り合えずメールを送りましたら、返事が来ましたが、英語なのです。

私も翻訳機を使って、協力させていただきたいという事と、少しお待ちくださいという事などを送りましたら、よろしくという返事が届きましたので、出来る範囲で協力していきたいと思います。

定款、公式訪問の時に、中里ガバナーから見直しをするようご助言いただきましたので、数か所修正をしたと思います。こちらも理事会で検討させていただきたいと思います。

あとはインターアクトですが、若い方のために種を蒔く仕事がインターアクトですよという事で、草加高校の先生も言っておりましたが、色々な機会を子ども達に提供して下さい、大きくなった時の糧になるという事で、これからどんなボランティアというか計画を立てるか、私の中では色々なアイデアが浮かんで来ていますが皆さんに賛成していただけるか考えてしまいます。

今日は高野さんのお話を聞く中で何かヒントを貰いたいなと個人的には思っていますので期待して卓話を聴きたいと思います。宜しくお願い致します。

### 幹事報告 加藤芳隆幹事

皆さんこんばんは、幹事報告をさせていただきます。親睦委員長が欠席という事でクリスマス例会のことを話します。締め切りは11月末という事です。現在36名です。コロナ感染者が増えているという事で心配もありますが、出来る対策はしっかりしていきたいと思いますので宜しくお願い致します。

11月24日ZOOM参加者 高橋昌夫会員

国際ロータリー第2770地区第9グループ

## 草加松原ロータリークラブ

会長：木村 博行  
幹事：加藤 芳隆

例会日：毎週火曜日 19:00～20:00  
例会場：草加市文化会館  
事務局：草加市青柳 8-56-21  
TEL/FAX 048-967-5315  
PC: sokamatsubara@abelia.ocn.ne.jp





## 2013-14 米山奨学生 **李 恩**さん (韓国ソウルよりZOOM参加)

皆さんこんばんは、今日は 6 時に仕事が終わって 1 時間くらいかけて帰ってきました。韓国も先週までは新型コロナウイルスの感染者がそんなに多くなかったのですが、今は増え始めてマスクをしていないと罰金になったりと会社の中でもずっとマスクをして仕事をしています。まだ在宅勤務にはなっていないくて、会社で色々協議はしているようですが、この先どうなるか不安です。

会社は生コン会社で直接工場には行くことはないのですが、日本の生コン会社と操作盤を作る企業と色々技術提供をしたりしていて、大阪のほうですが、年に数回は出張に行ったりしています。今は、全くどこにも行かれなくて、来月はビデオ会議をやろうと準備をしていますが、直接に会わないと伝わらないのではと思って不安です。コロナでどこにも行かれなくて、仕事・帰宅、仕事・帰宅の繰り返しであまり近況報告ができない感じがします。

皆さんは元気ですか！(元気だよ～、草加においで！) 草加に行きたいです！

Q.新婚生活はどうか？

A.お互い仕事で帰ってきてご飯を食べて、朝仕事に行く繰り返しで、週末以外はあまり会っていないです。

## 2018-19財団奨学生 **高野恭平**さん紹介

## カウンセラー 長谷部健一 会員

皆さんこんばんは、今日ロータリー財団奨学生としてイギリスの大学に留学された高野恭平さんの卓話をお願いすることになっています。

高野さんは産婦人科の医師で、2018年7月～2019年6月の年度で留学され、彼が興味を持って勉強したい、役に立てたいと思われたのは、「死産の防止」子どもが低開発国で生まれて来る時に亡くなってしまうことが多いという事で、それを少なくすることを人道的な見地から勉強したいというお話がありまして、当クラブで推薦をして1年間勉強をしていただきました。詳しい話は高野さんからしていただきますが、今日本に戻られて、産婦人科にお勤めになっています。今日はこちらに来てお話していただく予定でしたが、コロナの関係で外出をしてこのような場に出るのは控えて欲しいということになったので ZOOM でお話をさせていただくことになりました。

宜しくお願い致します。



## 2018-19財団奨学生 **高野恭平**さん (都内 勤務先病院よりZOOM参加)

皆さんこんばんは、2018年度ロータリークラブ奨学生として、2018年9月から一年間、イギリスのリバプール熱帯医学大学院に留学させていただきました。今回そのご報告を致します。出生地は違いますが、幼少の頃より草加で暮らしておりました。4歳頃に苗塚町に引越してきて、今でも実家はそこにあります。みのべ幼稚園、草加市立小山小学校と進学し、中学以降は他の地区に進学しましたが、草加より通学しました。大学受験の勉強は草加市中央図書館、友人とは近所のラーメン屋青木亭、夜は湯屋処まつばらと、草加市内には列挙しきれないほど思い出があります。初めての仕事は思い入れのある土地で行いたいという思いから、大学卒業後は草加市立病院で働きました。

病気というものは人生の一部である病院の中で完結するものではない、病院外の生活に影響を受けて、病気になる。治ったらまた家に帰る。病院にいる時間なんて人生のうちのほんの一握り。つまり、病院外の生活が大切になる。自分が育った街に少しでも貢献できればという思いもありました。

実際に研修してみて、大変良かったことがいくつもあります。

まずは地元出身ということで、病院の職員や先生方に大変よくしていただきました。おかげで大きなストレスなく研修を受けることができました。他に、自分の親友の子供を取り上げることができました。

これは地元で仕事をしないと得られない感動だと思います。

小さいことから一緒に育ってきた友人の出産に立ち会えることで、命の循環や神秘に触れられた気がしました。

初期研修を終えた後に、ほかの病院にうつり産婦人科としての研修を行いました。草加市立病院まなんだこと、知識だけではなく、病院内外のつながりや地域への貢献等の気持ちが大変な産婦人科研修の支えになったと思います。自分の知らない土地で研修を受けていたら、患者さんに会う時間は病院内で、しかも病気をした時だけでしょう。そうすると、その人がなぜ病気になったのか、また、病気が治った後の生活はどうすればいいのかなどまで想像することはなかったかもしれません。



・草加市立病院 初期研修  
・産婦人科専門医研修

初期臨床研修と産婦人科専門医としての研修と並行して、国際保健分野での研修も受けていました。これは両親からの影響が大きいと思います。途上国医療支援を行うための研鑽も積みました。私が幼いことから父は海外で仕事をしていました。建築関係のエンジニアでしたが、長く海外を拠点に働いていました。近年は中東におり、今年初めまではイラクで、日本イラク政府間援助で出た仕事を受けていました。そのような父を持ったおかげで、私も海外での仕事に憧れをもっており、自分もいつか海外でも働きたいという気持ちがずっとありました。また、母も同じように海外での経験がありました。1979年のポル・ポト政権崩壊とともに、タイ・カンボジア国境に逃れてきた大量のカンボジア難民に対して、日本からも医療従事者が何人も現地でボランティアを行いました。私の母もその一人でした。その話を小さいことから聞いていたこともあり、

海外に出ることは私にとってすごく自然なことでした。

私も海外で仕事をしたい希望がずっとありました。

ヨルダンの難民キャンプ内にあるクリニックでインターンや、ケニア郊外にあるエイズ孤児院でボランティア、ベトナムホアビン省の過疎地にある保健所等で研修を受けました。

左上にあるのはケニアのエイズ孤児院の子供たちの写真です。



国際保健への熱意

110万人いると言われるエイズ孤児たちは、ケニアの大きな

社会問題であり、この子供たちを支えるNPOでボランティア活動を少し行いました。右下の写真はヨルダンにあるパレスチナ難民キャンプにあるクリニックでインターンを行った時のものです。1948年、イスラエルの建国宣言を受けて第1次中東戦争が勃発しました。以来、パレスチナ人は故郷への帰還を切望しながら、70年以上にわたり難民として生活しています。現在は国連パレスチナ難民救済事業機関により生活が保護されていますが、その生活レベルはとても良いとは言えません。右の建物はベトナムの田舎の方にあるホアビン省の保健所です。ベトナムでもエイズは社会問題であり、エイズ患者さんの治療等をどのように行っているか実際に現地を訪れて勉強させていただきました。

今回、更に体系的に国際保健・国際医療協力を勉強したいと考え、皆様からの支援を受けて、2018年8月から一年間、イギリスのリバプール熱帯医学大学院に留学しました。



受入クラブ：  
1180地区 南リバプール

留学先はイギリスにある小都市、リバプールという街です。地理的にはイングランドの北西部に位置し、古くから港町として栄えております。ビートルズの出身地としても世界的に有名な街で、町の至る所にオブジェ等がみられます。実施国側クラブは1180地区南リバプールロータリークラブです。当代表の Devid Birton さんや、世話をしてくれた Philip Danial と妹の Joy さん等多くの方に助けていただきました。リバプールについての初日に、毛布や食器、ワインなど様々な生活用品を下さり、生活のセットアップを手伝ってもらいましたし、他にも例会や家族の食事にも呼んでいただき、すごくいい思い出になりました。他にも、Martin Williams さんによく食事に誘っていただきましたが、彼は前年度も日本人の留学生を受け入れてくださっていたようで、とても親日家でいらっしゃいました。

私が留学した大学院は LSTM というところで、私が勉強している分野、国際保健や公衆衛生の分野では世界で一番歴史が古く、1898年に設立されております。この公衆衛生や国際保健がイギリスで発展した背景として、当時の植民地政策が深くかかわっています。当時、海軍を率いて、植民地を広げていたイギリス軍でしたが、長い行軍生活や熱帯特有の病気、例えばマラリアと黄熱病などで戦力低下が大変な問題となっておりました。病気になっても、植民地や未開の地には病院がありません。

それらを克服するために、軍隊の兵士が健康な生活を続けられるように、いかに病気をさせないかを考える学問が発達し、それが国際保健や公衆衛生という分野の礎になりました。

こういう背景があり、イギリスは歴史的に、国際保健や公衆衛生の分野で世界をリードする大学院が多くあります。

私のコースは国際保健、特に母子保健に特化しており、クラスメイトのバックグラウンドは多種多様で、アフリカのシオラレオネやナイジェリア、東南アジアのネパールやラオス、



MSc. International Public Health (Reproductive health)

欧米のアメリカやイギリスなど様々な国から生徒が集まっていました。コースは三学期性で、一学期が基礎、二学期は応用、三学期は研究でした。授業の構成は始めに講義を聞いた後、少人数でグループに分かれて議論を行い、最後に全体へ発表という形でした。

私の研究テーマは、医療の質を改善する代表的なツールの一つである Lean Six Sigma の有効性を分析するものでした。大学院卒業後は欧州復興銀行に就職しました。この銀行は、旧ソ連や東欧諸国の市場経済移行や民間企業育成を支援する目的で、1991年に設立された国際金融機関で、欧州諸国だけでなく、日米を含む多くの国が加盟しており、本部はロンドンにあります。似たような組織には世界銀行やアジア開発銀行などがあり、そのヨーロッパ版です。ヘルスケアコンサルタントとして働き、ヘルスケア関連融資案件に対するアドバイス、例えば、病院がない地域に病院を建てるプロジェクトや、医薬品を開発する企業への融資などや、薬剤耐性菌コントロールの案件などに関わりました。



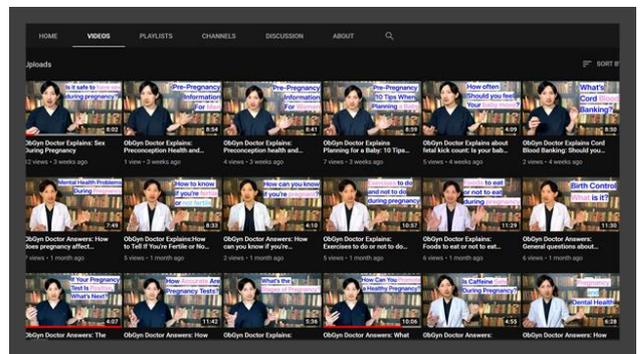
留学後進路：欧州開発復興銀行

薬剤耐性菌は抗生物質が効かない菌のことで、2050年には1000万人以上が薬剤耐性菌のせいでなくなるといわれています。癌よりも死亡数が増えると言われていて、

薬剤耐性菌は抗生物質の使い過ぎが主な原因といわれていますが、病院だけでなく、畜産でも抗生物質が過剰に使われています。欧州開発復興銀行はどちらの分野にも融資を行っており、適正使用を促すための働きかけを行っていました。

新型コロナウイルス感染症流行の影響もあり、帰国して、現在は荻窪にある東京衛生病院で産婦人科医として勤務しています。

今は準備期間と考えて、国境なき医師団への医師登録、YouTube (チャンネル名: GyneTube) 開設、産婦人科医師としての最先端医療の研修を中心に行っています。このアウトブレイクが落ち着いたら、また途上国や医療が受けられない方々のために尽力いたしますので、今後ともよろしくお願ひ致します。末筆ながら、長谷部様を始め、草加松原ロータリークラブの皆様にお世話になったこと、お礼申し上げます。



高野さんの YouTube です  
チャンネル名 GyneTube)

11月17日 ニコニコBOX			
金額	12,000円	累計	227,000円
11月17日 出席報告			
会員総数	40	出席	17
出席免除	6	MU	3
出席適用	34	出席率	57.14

### 今後のプログラム

- 12/8 卓話 森 勇一会員 中央公民館  
「職業奉仕について」
- 12/15 クリスマス例会 パレスホテル東京
- 12/22 卓話 秋田和宏会員 中央公民館

- 木村 博行会長 久しぶりに初冬来意寒さが戻ってきましたね。体調には気をつけましょう！高野さんの卓話非常に楽しみです。イ・ウンソンさんも久しぶりにお会いできることを楽しみにです。
- 加藤 芳隆幹事 高野恭平さん・李恩先さん、ZOOMでの卓話直しくお願ひします。今後もお二人の活躍をお祈りします。
- 牛山 信康会員 Goto トラベルを利用して箱根に行ってきた。寒い人混みでこれでは感染者が増えるだろうと思いました。
- 大塚 嘉一会員 娘(大学1年生)は、どこに行っても「ご両親に愛情たっぷり注がれて育てられたんですね」と言われるそうです。そんなにわがままな子に育てちゃったかしら。
- 田川 富一会員 米山学友の李恩先さん、財団奨学生の高野恭平さん卓話楽しみです。益々のご活躍を祈念します。
- 田中 和郎会員 今日は急に12月の寒さになり身にしみみます。この寒さが続くようです。皆様お身体を大切に！
- 富永 悟会員 李さん、高野さん卓話ありがとうございました。
- 二階堂祐司会員 寒くて今日ついに我慢できずにタイツを穿いてしまいました。ホッとしますね！高野恭平様、卓話楽しみです。李恩先さんお久しぶりです。
- 長谷部健一会員 めっきり寒くなりました。今日は高野恭平さんと李恩先さんのZOOM参加を楽しみに来ました。
- 森 勇一会員 本日 iPhone 12に換えてきましたアプリの移行にとっても苦労しております。しばらくLINEが使えませんが、よろしくお願ひします。
- 鈴木 努会員 本日は李さん、高野さんよろしくお願ひします。